

共同研究・受託研究

先進的な課題に関心を持つ研究者たちが専門知識を活かして学術的な分野に取り組み、社会や産業界に貢献しています。

内閣府 SIP 第3期研究 (自動運転)

BOLDLY(株)、同志社大学、室蘭工業大学、明治大学、住友商事(株) 日本



内閣府SIP第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」に採択。自動運転に関して、生活道路や賑わい道路における社会的な受容性や協働性の向上、ルールの確立、地域モビリティ人材の育成について、10人の教員が研究しています。

イノベーション・エコシステム研究会

大田区産業振興協会、燕三条市 日本



イノベーション・エコシステムに関して、デザイン思考を取り入れた課題解決行動を研究するグループです。2023年度は、大田区と燕三条の企業等、20ヶ所のインタビュー調査を行い、事業承継等の課題や経営者の視点についてレポートを公開しました。

バーチャル石垣島 (受託研究)

特定非営利活動法人うもりそら 日本



NPO法人からの委託を受け、観光しながら学習可能な空間を提供するバーチャル石垣島を開発、バーチャルリアリティ (VR) 技術を利用したメタバース空間とリアル空間を結びつけながら、石垣島の魅力を高め、持続的な観光振興を目指しています。

高大連携

産業を通じたキャリア学習や大学の模擬授業、大学生による探究授業の協力など本学の教育の特色を活かして高校生とともに地域社会の課題解決のアプローチを図っています。

(1) 探究学習の授業への参加

行政と連携した地域の課題発見・解決方法の提案等を行う授業において、学生ならではの視点で議論を行い、調査・資料作成・プレゼンテーションを学ぶ高校生に対して協力・助言を行っています。

(2) 大学教員による授業への協力

大学教員による模擬授業や探究学習発表会での審査や講評を行っています。

(3) 高校生のための企業研究

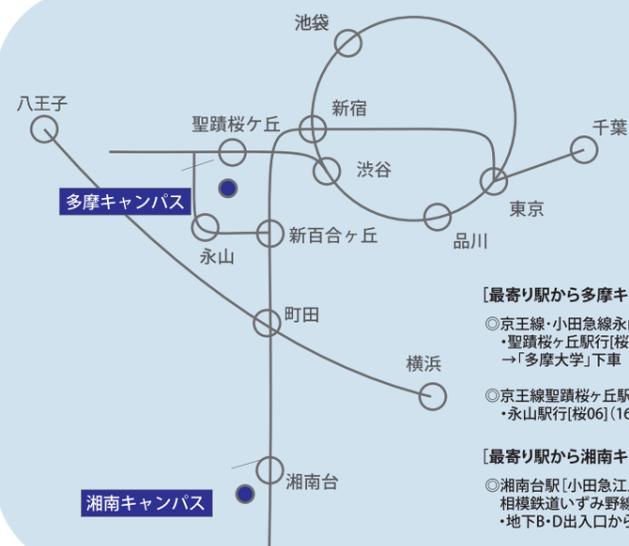
探究学習の授業の一環として学生による「高校生のための企業研究」を実施しています。

(4) 高校教員のための会社見学会

優良企業と教育機関の連携を図り、高校・大学教員の参加による地元企業の会社見学、意見交換会を実施しています。

(5) 高校生のインターンシップの受け入れ

高校生の職業観や勤労観の育成等将来のキャリアに役立つ貴重な経験として実施しています。



【最寄り駅から多摩キャンパスまで所要時間】

◎京王線・小田急線永山駅(バス乗り場2番)
・聖蹟桜ヶ丘駅行(桜06)/聖ヶ丘団地行(永34)(11分)
→「多摩大学」下車

◎京王線聖蹟桜ヶ丘駅(バス乗り場12番)
・永山駅行(桜06)(16分)→「多摩大学」下車

【最寄り駅から湘南キャンパスまでの所要時間】

◎湘南台駅[小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄]下車
・地下B・D出入口から徒歩12分

お問い合わせ先

多摩大学産官学民連携センター

〒206-0022

東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1

TEL : 042-337-7583

<https://t-collabo.com>



多摩キャンパス

〒206-0022

東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1

TEL : 042-337-1111 (代表)

湘南キャンパス

〒252-0805

神奈川県藤沢市円行802番地

TEL : 0466-82-4141 (代表)



多摩大学
産官学民連携
Activities Examples
2024



2023年度 産官学民連携活動事例

企業・産業界との連携 教育・研究機関との連携

地方公共団体との連携 NPO/地域団体との連携



タマリズムプロジェクト



多摩大生が企画及び運営を行っている産官学民連携プロジェクトです。観光まちづくりをテーマに、学生が提案する企画を公募し、採択された企画に対してコンテストを開催し、事業化までの支援を行います。2023年度は、30チーム11校、129名の学生が参加しました。

羽田イノベーションシティ最先端プロジェクト



羽田イノベーションシティの「スマートシティ」について共同研究。自動運転の実証実験、イベント企画・主催・シンポジウム開催、AI/メタバースなどのEXPO主催や企画を実施しています。AI Chatやポデイトラッキングのシステムは学生が開発しています。

マチカド子ども大学™



小学生に大学の学びを提供するドイツ風の子ども大学を教員・学生で実施。周辺企業の参画を促し、川崎市麻生区の後援を受け、小学生に探究型の学びの場を提供し、地域一体となった活動を推進しています。本事業は川崎市市制100周年記念事業に選定されました。

多摩市子若条例副読本素案制作と啓発ポスター制作



多摩市からの依頼を受け、「子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」を周知する副読本と啓発ポスターを制作しました。副読本は、市内の小学6年生の授業で活用され、ポスターは市内の小学校、公共施設等160か所に掲示されました。

「あきしまの水」ブランディングプロジェクト



昭島市市民部産業活性化課と連携し、地下水(深層地下水)のみを水源としたおいしい水のブランディングを図っています。「あきしまの水」の魅力を発信するため、PR動画制作や産業祭りに出展、まちの活性化を目指しています。

公開講座



寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座



寺島実郎学長監修により各界の碩学を講師として招き、半期12回、年間24回リレー形式にて講座を開講しています。各回、地域住民約400名、学生200名が受講し16年間の参加者数は、のべ24万人を超えています。

奥多摩活性化事業開発プロジェクト



2016年より「みんなでつくる奥多摩」をコンセプトに事業開発を通じて地域課題解決を行い、若者が住みたくなるまちを目指して、空き店舗を活用した拠点や中小企業向け社員研修旅行、多摩産材を使った商品等の開発に挑戦中です。

竹灯籠プロジェクト



「町田市の放置竹林問題」および「四季彩の杜(薬師池公園)のオフシーズンの活用」という2つの課題解決を目的として、竹灯籠の制作・展示(ライトアップイベント)、市民向けのワークショップを開催しました。

聖蹟桜ヶ丘活性化プロジェクト



聖蹟桜ヶ丘を舞台に多摩エリアの魅力を発信するため、学生がショッピングセンターと連携、企画段階からイベントに参画し、奥多摩の特産物を生かしたクラブビールを企業と共同開発・販売しました。聖蹟と奥多摩のまちの魅力をかけ合わせることで地域間の交流を深めています。

近隣小学校のICT授業支援



小中学校における1人1台端末による学習環境(GIGAスクール構想)支援のため、学生が近隣小学校に赴き、1年生に対してクラウド型授業支援端末のパスワード設定支援、アプリによる描画などのICT授業支援を行いました。

次世代事業開発人材育成プログラム



中小企業の幹部候補と信用金庫等の支援機関担当者でチームを組み、次世代の「本業」になる事業開発を生み出せる人材を育成する実践的なプログラムです。8ヶ月に渡るプログラムでは座学とフィールドワークを交えた研修を通じ、次世代事業計画に必要な俯瞰力、構想力、プロデュース力を身につけます。



T-Studio 公開講座



多摩大学では、地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため地域の方へ向けた公開講座を開催しています。

鎌倉市観光協会との共同調査



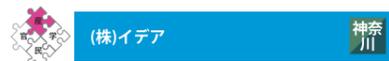
鎌倉を訪れる訪日外国人の情報取得に関する調査を実施しました。本調査は鎌倉市、鎌倉市観光協会との包括連携協定に基づくものです。学生は調査の基本に始まり、報告書執筆や調査発表など研究に関する一連の方法論を学ぶことができましたが、その成果として同観光協会関係者の前で発表を行いました。

Fujisawa Foodies



インバウンド誘致の一環として、外国人観光客向けに飲食店の外国語メニューを整備するため、店舗へのヒアリングを含めて翻訳作業に協力しています。翻訳結果は藤沢市観光協会が運営する飲食店検索サイトに掲載されます。2023年度は、湘南駅周辺の飲食店を対象に実施しました。

TSUJIFESへの参画



辻堂駅前で開催された「辻堂フェスティバル(TSUJIFES)」に出展しました。訪日外国人飲食店利用動向調査の成果として作成した「訪日外国人と食」というゲーム教材を出展し、幅広い年齢層の方にご参加いただくことで地域活性化に貢献することができました。

ぶらりごみ拾いin六会



1時間で最も多くのごみを集めたチームが優勝というルールのもと、日本大学、藤沢市環境事業センターと協力して開催しました。近隣の高校、市民団体、民間企業、藤沢市職員等、150名を超える地域の方が参加しました。

外国人観光客向けサイクリングコースの提案



藤沢市、藤沢市観光協会との包括連携協定に基づきインバウンド誘致のために行ってきた外国人観光客アンケートにおいて、最も体験したいアクティビティとして「サイクリング」が選ばれていました。この結果を受け今年度は4本のサイクリングコースを作成し、提案しました。

学内業界研究セミナー



28社の企業と約270名の学生(3年生)が参加、学生の企業研究と企業の方々に本学の学生を知っていただく機会として開催しました。

多摩大学の連携事業

- 社会問題の分析や解決提案、教育手法の開発
- 企業や地方公共団体との課題解決型の共同研究・受託研究
- 地域コミュニティや団体など多様な組織とのネットワークを形成
- 魅力あるまちづくりのためのプロジェクト創出 など

